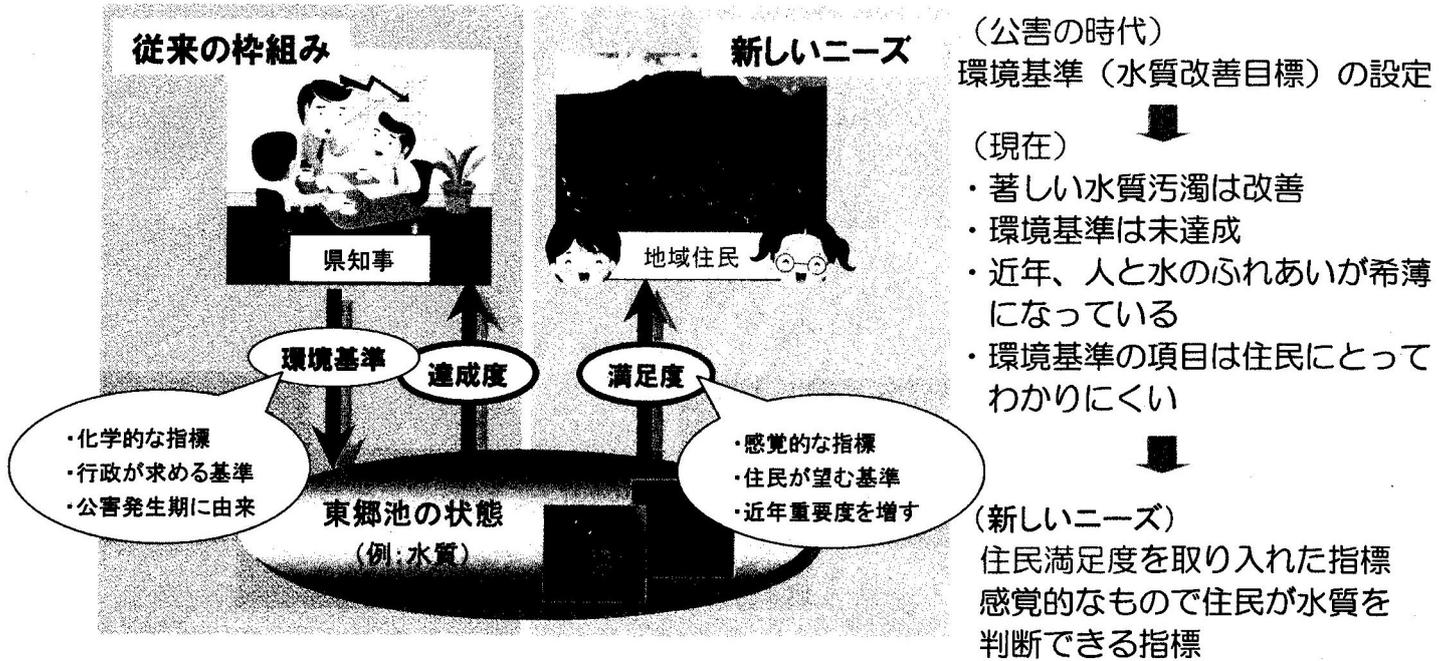


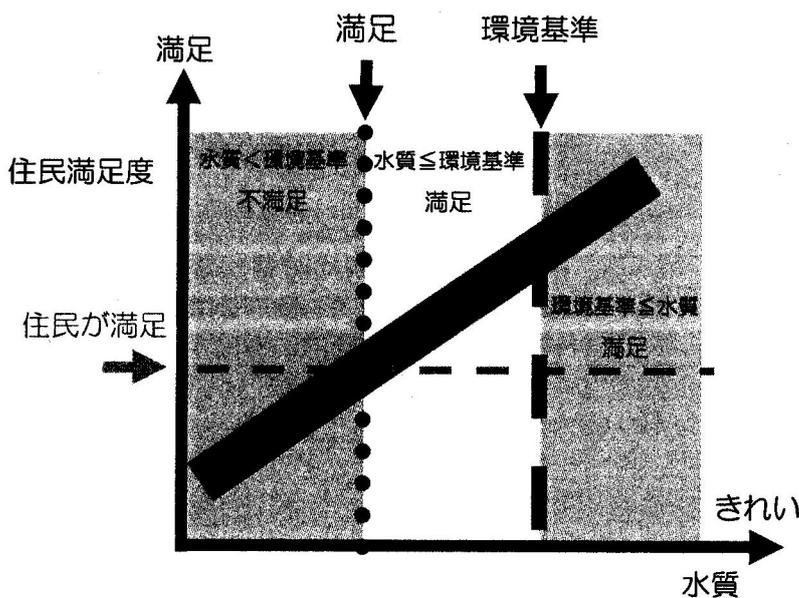
# 新たな環境指標の設定に向けて

鳥取県衛生環境研究所

衛生環境研究所では、従来の水質改善目標（環境基準）に加えて、住民満足度を取り入れた新たな指標の設定に向けて取り組んでいます。



## 新たな環境指標のイメージ



### ●住民満足度と水質の関係

住民満足度が高いほど水質もきれいになると予想される。（住民満足度と水質は右上がりの関係になる）

●五感に基づいた住民満足度調査をすることで、住民が満足する水質の状態がわかる。

（水質 < 環境基準） & 不満足

住民満足度、環境基準ともに未達成

（水質 ≤ 環境基準） & 満足

住民満足度は達成、環境基準は未達成

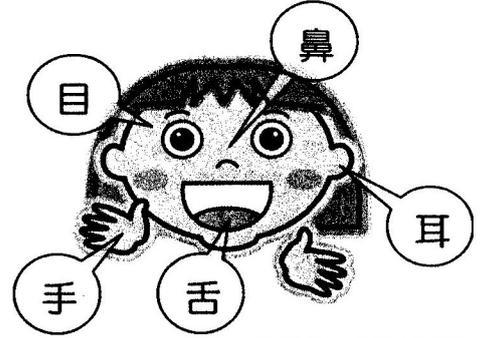
従来の環境基準に加えて、住民満足度を組み合わせた新たな環境指標の設定を検討

住民が満足できる水質について、今後も調査を行う予定

# H23年 東郷池五感チェック結果

鳥取県衛生環境研究所

現在の東郷池は、以前と比べると比較的きれいになっています。しかし、東郷池は汚れているとイメージしている人が多いようです。そこで、住民のみなさんの東郷池に対する意識を把握するため、五感チェックアンケートを行いました。



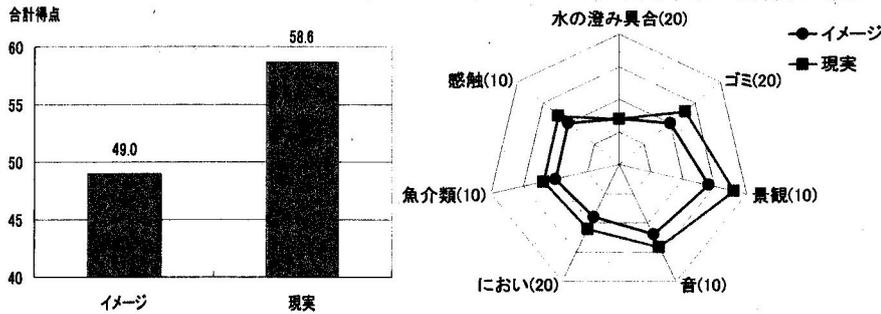
五感を使って感じたままの点数を記入

項目	評価	点数
水の透明度	澄んでいる	20点
	少し濁っている	15点
	にごっている	0点
ゴミ	ほとんどない	20点
	少し見られる	10点
	たくさんある	0点
音	静しい、むげなむ	10点
	ほかに鳴ることはない	5点
	喧嘩、異音がする	0点

イメージ (東郷池を想像して)



## 1 イメージと現実 (参加者全体の平均)



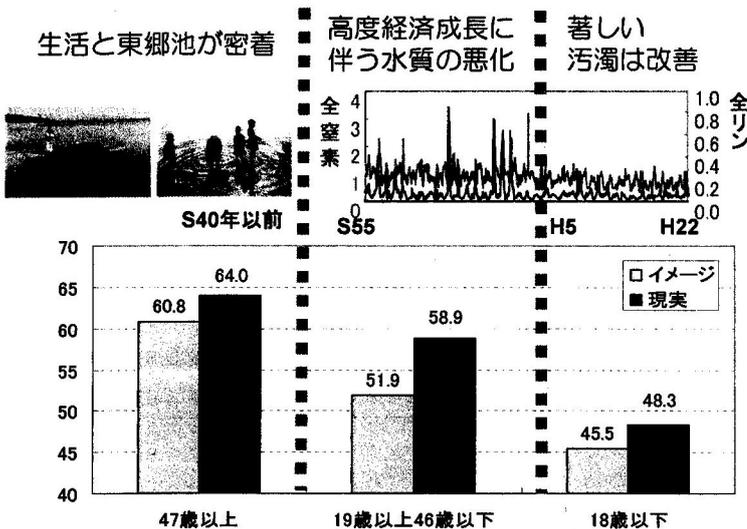
### ●イメージと現実の比較

イメージよりも現実(東郷池を見た場合)の方が得点は高くなる傾向があった。東郷池のイメージは悪いが、見ることで印象がよくなることを表している。

### ●項目別の結果

「水の澄み具合」は、イメージと現実は同得点であり、それ以外の項目は現実の方がイメージよりも高い。

## 2 年代別の結果



高齢になるほど得点が高い。

すべての年代でイメージよりも現実の方が得点が高い。

なぜ、年代で評価が異なるのか?

年代区分は東郷池の水質の変化に対応している。経験してきた時代背景や東郷池と生活の密着度が影響しているのではないかと。特に18歳以下の世代では、池とふれあう機会が少なく、池への先入観が強いためではないかと。

## 3 アンケート結果が示すこと

(1) 東郷池は、現実よりイメージが悪い

(2) 年代別で東郷池の評価が変わる  
→ 経験した時代や池との密着度、池への先入観などに影響を受ける

現実の東郷池の姿を知る!



若年齢層に対する環境教育  
池とふれあう湖岸での現地学習が重要